

健康すいた21（第2次） 分野別進捗評価

◆本資料の説明

この資料では、以下の2点を掲載しています。

- ・各分野の進捗
- ・ライフステージ別の市の主な取組

なお、最終評価はR2年度実績値が出揃った状態で、第2回会議にて改めて御報告いたします。

◆分野

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 栄養・食生活 | 5 アルコール |
| 2 たばこ | 6 歯と口腔の健康 |
| 3 運動・身体活動 | 7 健康管理 |
| 4 休養・こころの健康 | 8 食を通じた豊かな人間形成 |

◆ライフステージの区分

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 妊娠・乳幼児期 | 就学前まで |
| 2 学齢期 | 小学生から高校生相当まで |
| 3 成年期 | 高校卒業相当から39歳まで |
| 4 壮年期 | 40歳から64歳まで |
| 5 高齢期 | 65歳以上 |

◆評価の見方

- ・評価指標の各項目についてA～D（評価不能—）で評価しています。（表1）
- ・分野の総合評価については、各項目の評価点数において、得られた評価項目の合計点数が、各分野における総点数（3点×評価項目数）に占める割合に応じて、決定しています。（表2）

表1 評価指標の評価基準

A (3点)	実績値が目標値に達している。
B (2点)	策定時と比較し、実績値の方が目標値に近づいている。
C (1.5点)	策定時と比較し、実績値の変化がない。
D (1点)	策定時と比較し、実績値の方が目標値から離れている。
—	参考となる実績値がないため、評価困難

表2 各分野の総合評価の評価基準

A	総評価点数の9割以上の点数
B	総評価点数の6割以上9割未満
C	総評価点数の5割以上6割未満
D	総評価点数の5割未満
—	参考となる実績値がないため、評価困難

健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
1

栄養・食生活

・健康増進計画【分野1】
・食育推進計画【分野1】

目標	おいしくバランスよく食事ができる								
	◆ 栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ。 ◆ 朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする。								
進捗状況	評価指標		策定時 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)		
					実績値	策定時 (H26) に 対する評価	実績値	策定時 (H26) に 対する評価	
	①	朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合	7.5%	減少	7.8%	D	7.7%	D	
	②	朝食を毎日食べる子どもの割合	小学6年生	96.5%	100%	95.3%	D	95.7%	D
			中学3年生	92.6%	100%	92.7%	B	92.3%	D
	③	食塩を多くとる傾向がある人の割合	男性	21.3%	18.4%以下	20.2%	B	19.4%	B
			女性	5.5%	3.9%以下	5.0%	B	4.6%	B
	④	食生活において栄養バランスを重視する人の割合	57.4%	68.6%以上	-	-	61.4%	B	

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食レシピをHPに掲載。オンラインで離乳食講習会を実施。 乳幼児の食事に関する子育て講座の開催 育児教室で離乳食の手引きの配付や試食を実施。 子どもの食育推進
	学齢期	<ul style="list-style-type: none"> 給食の提供と、子どもの食育推進。 保護者向けの給食試食会の実施。
	高齢期	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の低栄養予防のため、レシピ集を作成。 栄養教室や、管理栄養士による個別相談を実施。
	全年代	<ul style="list-style-type: none"> 減塩や野菜摂取、栄養バランス等のポスターやちらしをスーパーに展示。 食環境整備として、健康づくり応援団の店（飲食店）の普及。登録店と連携し、健康情報の発信や大学と連携したコラボメニューの提供を実施。

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	C		C

健康すいた21（第2次）評価管理シート

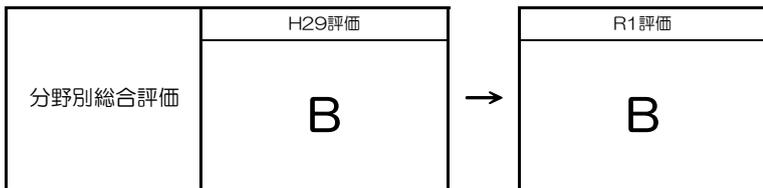
分野
2

たばこ

・健康増進計画【分野2】

目標	たばこの害を与えない、受けない ◆ たばこの害を知り、受動喫煙のない環境づくりに協力する。 ◆ 喫煙者は禁煙に挑戦し、未成年者や妊産婦は喫煙しない。								
	評価指標		現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)		
進捗状況					実績値	策定時 (H26) に 対する評価	実績値	策定時 (H26) に 対する評価	
	①	禁煙サポートを実施している 医療機関数	43機関	増加	47機関	A	49機関	A	
	②	喫煙率	男性	23.1%	19.3%以下	21.4%	B	20.6%	B
			女性	6.3%	5.0%以下	6.1%	B	5.6%	B
	③	禁煙相談者数	202人	増加	465人	A	377人	A	
	④	市施設での禁煙実施率	99.4%	100.0%	99.4%	C	99.4%	C	
	⑤	COPDの認知度	44.0%	80.0%以上	-	-	41.5%	D	
⑥	妊婦の喫煙率	-	0.0%	0.9%	B	1.0%	B		

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	・妊婦やその同居家族に対して、情報提供・禁煙指導。
	学齢期	・小中学生に対し、たばこが体に及ぼす害、受動喫煙の害についての教育を実施。
	全年代	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙治療費の一部助成を行う。 ・路上喫煙禁止地区を拡大。環境美化推進員が定期的に巡回し、指導。 ・イベントやホームページ等でたばこに関する情報発信を実施。 ・改正健康増進法・大阪府受動喫煙防止条例に基づいた「望まない受動喫煙の防止」のための規制の周知や施設の指導等。 ・スモークフリーシティ（たばこの煙のないまち）すいたをめざし、庁内横断会議を設置し、全庁的にたばこ対策に取り組む。
	その他	・市職員向けの禁煙推進「すいたプロジェクト」を実施。



健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
3

運動・身体活動

・健康増進計画【分野3】

目標	日常生活の中で体を動かし、自分にあった運動を楽しむ ◆ 意識的に体を動かしたり、自分にあった運動習慣を身につける。 ◆ 生活習慣病やロコモティブシンドロームの予防など、運動の効果を知っている。								
	評価指標			現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)	
進捗状況					実績値	策定時 (H26) に 対する評価	実績値	策定時 (H26) に 対する評価	
	①	定期的な運動（1日30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施）している人の割合	男性	39.3%	41.3%以上	38.8%	D	38.8%	D
			女性	31.1%	36.1%以上	30.7%	D	30.1%	D
	②	短い距離（徒歩10分）なら歩く人の割合	男性	83.8%	84.5%以上	83.7%	D	84.4%	B
			女性	81.5%	82.4%以上	81.1%	D	78.2%	D
	③	中学校の運動クラブ参加者の割合		63.3%	75.1%以上	63.8%	B	62.5%	D
	④	ロコモティブシンドロームの認知度		30.3%	80.0%以上	-	-	38.3%	B
⑤	運動やスポーツが好きな子どもの割合	小学5年生	88.2%	94.0%以上	87.9%	D	89.2%	B	
		中学2年生	81.9%	90.7%以上	80.6%	D	82.7%	B	

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	・児童会館、児童センターでの運動行事の実施
	学齢期	・児童会館、児童センターでの運動行事の実施 ・保健体育、運動部活動を通じた運動、身体活動
	成年期	・青少年のスポーツを通じた交流の促進のため、指定曜日に青少年サポートプラザの多目的ホールを開放。 ・健康教室や保健指導の場でロコモティブシンドロームやフレイル予防等の指導
	高齢期	・高齢者の運動機能向上のため、いきいき百歳体操やひろばde体操の推進およびその支援を実施。 ・高齢者の運動に関する情報発信をホームページ等を活用して行う。
	全年代	・各種運動講座の実施。 ・運動に関する情報の発信 ・健都ルールサイド講演の設置 ・バリアフリーの推進

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	D		C

健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
4

休養・こころの健康

・健康増進計画【分野4】

目標	自分のこころの状態を知り、ストレスを解消できる							
	◆ 睡眠による休養が十分にとれている。 ◆ 自分にあったストレスの解消方法を知っている。 ◆ 悩みを相談する人がいたり、解決につながる相談窓口を知っている。							
進捗状況	評価指標		現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)	
					実績値	策定時 (H26) に 対する評価	実績値	策定時 (H26) に 対する評価
①	①	男性	6.0%	5.4%以下	5.8%	B	6.7%	D
		女性	9.5%	8.5%以下	9.4%	B	9.2%	B
	②	睡眠時間を規則正しくとれる人の割合	85.9%	86.2%以上	84.5%	D	86.7%	A
	③	自殺者数	45人	40人以下	33人	A	45人	C
	④	自己肯定感のある子どもの割合	小学6年生	79.1%	89.6%以上	79.4%	B	83.1%
中学3年生			65.6%	82.8%以上	69.0%	B	73.1%	B

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中から子育て期までの切れ目のない支援や相談体制を整備
	高齢期	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい交流サロンの増設 高齢者の閉じこもり、うつ予防のため、はつらつ元気シートの普及 介護支援サポーター事業の推進
	全年代	<ul style="list-style-type: none"> 各種相談支援事業の実施、窓口の周知 地域の総合相談、支援のためのネットワークづくり 自殺対策の推進（庁内会議の開催、ゲートキーパー養成研修等の実施） 障がいや精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発 認知症サポーター事業の推進

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	B		B

健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
5

歯と口腔の健康

- ・健康増進計画【分野5】
- ・食育推進計画【分野3】
- ・歯と歯ぐきの健康づくり推進計画

目標	いつまでも自分の歯で噛むことできる							
	評価指標		現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)	
進捗状況					実績値	策定時 (H26) に 対する評価	実績値	策定時 (H26) に 対する評価
	①	3歳児歯科健診におけるむし歯のない幼児の割合		85.7%	90.2%以上	87.8%	B	89.0%
②	12歳（中学1年生）における永久歯のむし歯経験歯数		0.88本	0.65本以下	0.80本	B	0.58本	A
③	成人歯科健診における進行した歯周病にかかっている人の割合	35～44歳	49.1%	40.5%以下	53.2%	D	55.1%	D
		45～54歳	55.7%	46.0%以下	59.1%	D	60.2%	D
④	80歳代で20歯以上の自分の歯を有する人の割合		65.8%	75.5%以上	68.6%	B	68.6%	B
⑤	歯間部補助清掃用具の使用者の割合（歯間ブラシもしくはデンタルフロス使用者の割合）	35～44歳	60.8%	65.9%以上	64.4%	B	68.4%	A
		45～54歳	66.2%	70.2%以上	70.2%	A	71.2%	A
⑥	75歳以上で口腔機能の維持向上の方法を知っている人の割合		-	11.3%以上	10.6%	B	15.3%	A
⑦	食生活においてよく噛むことを重視している人の割合		28.4%	39.2%以上	-	-	26.6%	D

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	・乳幼児の歯と口の健康に関する講座を実施。
	学齢期	・給食後の歯磨きについて啓発
	高齢期	・高齢者の口腔機能の維持・向上のため、吹田かみかみ健口体操の作成と普及啓発を実施。またオーラルフレイルの啓発を強化。
	全年代	・対象に応じた歯科健診、歯科保健指導の実施 ・歯科疾患と全身疾患との関連についての啓発

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	B		B

健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
6

アルコール

・健康増進計画【分野6】

目標	アルコールの害を理解し、適量飲酒を心がける ◆ 過度の飲酒が及ぼす問題などアルコールについて正しい知識を持ち、適量飲酒に努める。 ◆ 未成年や妊産婦は飲酒しない。								
	評価指標			現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)	
進捗状況	①	多量飲酒者の割合	男性	2.4%	2.2%以下	実績値	策定時 (H26) に対する評価	実績値	策定時 (H26) に対する評価
			女性	0.30%	0.28%以下	0.33%	D	0.31%	D
	②	妊婦の飲酒率	-	0.0%	0.3%	B	0.5%	B	
	③	適量飲酒について知っている人の割合	56.3%	増加	-	-	80.4%	A	

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	・妊婦の飲酒率低下のため、飲酒習慣のあるに妊婦に対して保健指導を実施。
	学齢期	・保健の授業でアルコールが体に及ぼす影響について教育。
	成年期 壮年期 高齢期	・適量飲酒や休肝日の啓発

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	D		B

健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
7

健康管理

・健康増進計画【分野7】

目標	健康づくりに関心を持ち、健康的な生活を送る								
	◆ 健康に関する正しい情報を知っている。 ◆ 健康診査の必要性を理解して毎年受診する。 ◆ 健康診査の結果を生かし、生活習慣の改善に向けて行動する。								
進捗状況	評価指標		現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)		
					実績値	策定時 (H26) に対する評価	実績値	策定時 (H26) に対する評価	
①	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	男性	41.9%	31.4%以下	44.7%	D	44.5%	D	
		女性	12.1%	9.1%以下	11.3%	B	11.3%	B	
	② 生活習慣改善に取り組む人の割合	男性	51.1%	53.4%以上	53.3%	B	60.5%	A	
		女性	56.9%	59.9%以上	57.7%	B	62.9%	A	
	③ がん検診受診率	胃がん	4.2%	4.9%以上	5.9%	A	6.5%	A	
		肺がん	21.3%	24.5%以上	24.2%	B	20.9%	D	
		大腸がん	26.5%	30.5%以上	28.2%	B	22.6%	D	
		乳がん	43.5%	50.0%以上	48.2%	B	41.0%	D	
		子宮がん	44.5%	50.0%以上	43.7%	D	39.2%	D	
	④ 保健センターの健康相談件数		1,787件	増加	4,758件	A	3,445件	A	
	⑤ 血糖高値者の割合	男性	13.0%	減少	13.7%	D	14.2%	D	
		女性	6.1%		6.5%	D	6.6%	D	
	⑥ 小・中学生の肥満傾向の割合	小学生・男子	5.0%	減少	4.9%	B	5.5%	D	
		小学生・女子	3.5%		3.9%	D	4.0%	D	
中学生・男子		5.8%	6.2%		D	6.4%	D		
中学生・女子		5.9%	4.7%		A	5.0%	A		

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	学齢期	・市内小学校でキッズ健康サポーター教室を実施。
	成年期～高齢期	国保加入者のみ： <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導対象者に保健指導を実施。 ・特定保健指導対象外で、血圧血糖高値者に受診勧奨。 ・血糖高値者で腎機能低下がある方に保健指導を実施。 ・各種がん検診の一部負担金助成、人間ドック費用助成。 生活保護受給者： <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者の健康増進のため、健康管理支援員が受診に同行。
	全年代	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設や民間企業と連携し健康づくりに関する啓発を実施 ・すいた健康サポーターを養成。 ・オンライン等を活用した健康情報の発信

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	B		C

健康すいた21（第2次）評価管理シート

分野
8

食を通じた豊かな人間形成

・食育推進計画【分野2】

目標	食を楽しみ、感謝して、食べることを大切にする ◆ 食の大切さについて理解を深め、意識を向上させる。 ◆ 食を通じたコミュニケーションを図る。								
進捗状況	評価指標		現状値 平成26年度 (2014年度)	目標値 令和3年度 (2021年度)	平成29年度 (2017年度)		令和元年度 (2019年度)		
					実績値	策定時 (H26) に 対する評価	実績値	策定時 (H26) に 対する評価	
	①	夕食について孤食が 「よくある」子どもの 割合	幼児期	0.6%	減少	-	-	0.6%	C
			小学生	1.6%		-	-	0.4%	A
			中学生	8.8%		-	-	6.8%	A
②	ふれあい昼食会参加人数	延 10,235人	延 12,000人	延 10,505人	B	延 9,848人	C		
③	食育に関心を持っている人の割合	69.9%	90.0%以上	-	-	62.1%	D		

ライフステージ別の市の主な取組 ※第2次計画期間の重点的な取組を掲載	妊娠・乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> 講習会等で、乳幼児期に大切な生活習慣や食生活のポイントを啓発。さらに乳幼児期から家族で食事を摂ることの大切さを指導。
	学齢期	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対して、食の大切さや共食について理解を深め、家庭で実践できるよう学習会を実施。併せて、給食だより等のお便りで食や栄養に関する知識の発信を行う。 作物の植え付けから収穫までを体験してもらい農業、食に対する理解を深める。 青少年の食を通じた生活習慣の確立を目的に、自炊活動やキャンプを継続的に実施。
	全年代	<ul style="list-style-type: none"> 農作物特産品栽培奨励として、農業者に吹田くわいの栽培を奨励する。また、収穫のため市民ボランティアを募集し、農業者を支援、特産品である吹田くわいについて理解を深める。

分野別総合評価	H29評価	→	R1評価
	-		B